

ふくいんで このよを いかそう

ローマ
16章 23節

私と全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくと書いています。
市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくと書いています。

福音は神様がくださったプレゼントです。それは、世の中をいやす最高の薬です。福音は人を生かして、現場をいやします。福音の中には、巨大な国をも変化させる意義があります。国にはそれぞれ、公平な機会を与えられず、競争で遅れをとる人々を助けるために、福祉制度があります。この福祉制度を福音を持った人が参加して運営するなら、どうなるでしょうか。本当の福祉が始まって、みんなが生かされる祝福を味わうようになるでしょう。

ローマはずばらしい経済と強力な政治力を持っていました。しかし、霊的問題はより深刻になっていきました。そのようなとき、レムナントのパウロとガイオがいた弟子チームを通して、ローマのあちこちに福音で福祉の働きをしました。それによって、霊的に苦しんでいる人と精神問題で苦しんでいる人を生かすことができました。のちにローマは福音化されて、全世界に福音を伝える世界福音化の現場となりました。私たちのまわりに霊的、精神的に苦しんでいる人はいますか。友だちを福音の目で見ることができるように祈りましょう。福音を伝えていやす時刻表がくるでしょう。



ぎょうのみことば



ぎょうのいのり

神様、ありがとうございます。福音を伝えるまことの福祉を通して、友だちを生かしますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

ペテロとヨハネは福音が必要な福祉現場を見ました。彼らは福音を伝えて現場をいやしたのですが、そのとき、その現場で伝えたいことを聖書から見つけて、()を埋めましょう。



すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレの()の()によって、歩きなさい」と言って、

使徒3:6のみことば



ぎょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

14

かようび

こんぽんもんだいを いやす レムナント

使徒
1章 8節

しかし、^{せいれい}聖霊があなたがたの^{うえ}上に臨まれるとき、あなたがたは^{ちから}力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの^{ぜんど}全土、および地の^{ほとへ}ほとへにまで、わたしの^{しやうにん}証人となります。

私たちは、^{からだ}からだ^{びょうき}が病気になることも、^{こころ}心が^{くる}苦しくなることもあるでしょう。^{げんば}現場には家庭や学校で^{せいしんもんだい}精神問題（ADHD、^{じへいしやう}自閉症、^{いそんしやう}ゲーム依存症など）や^{からだ}からだの問題（^{がん}がん、^{いろういろ}いろいろな^{なんびやう}難病）に^{くる}苦しむ人たちがいます。レムナントは、このようないろいろな^{もんだい}問題の中に^{なかに}霊的問題が^{かく}隠れていることを^み見なければなりません。この^{じじつ}事実は、^{かみさま}神様のみことばである^{せいしょ}聖書に^{きろく}詳しく記録されています。^{かみさま}神様を^{はな}離れたサタンの子どもは、^{いま}今も^もわざわいの下にいます。ですから、このような^{もんだい}問題が^{くる}くるしかありません。^{かみさま}神様は^{もんだい}問題を^{こんぽん}根本から^{かいけつ}解決するために、この^ち地にイエス様を^{きりすと}キリストとして^{おく}送ったと言われています。

レムナントのパウロは、^{からだ}からだの^{びょうき}病気がありました。しかし、^{なが}長く^{つづ}続いている^{もんだい}問題が^{あらわ}現れる現場を^{ふく音}福音で^{いやす}いやす伝道の^{しゆふ}祝福の中にいました。すでに^{あらわ}現れた^{もんだい}問題を^{いやす}いやす前に、^{ふく音}福音で^{こんぽん}根本が^{いや}いやされなければならないという^{じじつ}事実を^{きおく}記憶しましょう。一緒に、はじめに^{こんぽんもんだい}根本問題を^{いやす}いやす福音に^{しゆうちゆう}集中して福音を^{あじ}味わいましょう。現場を^{いやす}いやす証人として^{しゆじんこう}主人公になるでしょう。



私のまわりに^{こころ}心や^{からだ}からだ^{びょうき}が病気の^{とも}友だちはいますか。
友だちの^{びょうき}病気が^{いや}いやされるための^{いの}祈りをしながら、^{こころ}心をこめて
友だちの^{かお}顔を描きましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。目に見える問題より、隠れている根本問題を見て、福音でいやすように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

核心訓練メッセージ | 2019.11.23



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

15

すいようび

スロ・フェニキヤの おんなの しんこう

ルカ
10章 19節

確かに、わたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる方に打ち勝つ権威を授けたのです。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。

ある日イエス様が、異邦人のたくさんいるツロの地方へ行かれました。そのとき、スロ・フェニキヤの異邦人の女の人がイエス様に会いにきました。スロ・フェニキヤの女の人には、子どもがいました。その子どもは、悪い霊につかれて苦しんでいました。その女の人は、イエス様が行われたしるしと奇跡をうわさで聞いて、イエス様がキリストだという事実を信じました。イエス様だけが子どもの問題を解決できると信じたのです。イエス様は、その女性の信仰を見ました。ですから、自分が直接家に訪ねて行かなくても、子どもについていた悪い霊が離れて、子どもが回復する答えを与えてくださいました。

神様は、私たちの信仰を見ておられます。信仰は目に見えないのですが、私たちの信仰によって解決できない問題が解決して、回復することができます。私たちにはどんな問題があって、どんな悩みがあるのでしょうか。現場の問題は何でしょうか。神様は、そのすべての問題をみんな知っておられます。イエス様がキリストだという事実を信じる信仰を回復して、根をおろすように祈りましょう。そのとき、時空を超越する神様が、目に見えない問題までもいやす答えの証拠を与えてくださるでしょう。



きょうのみことば



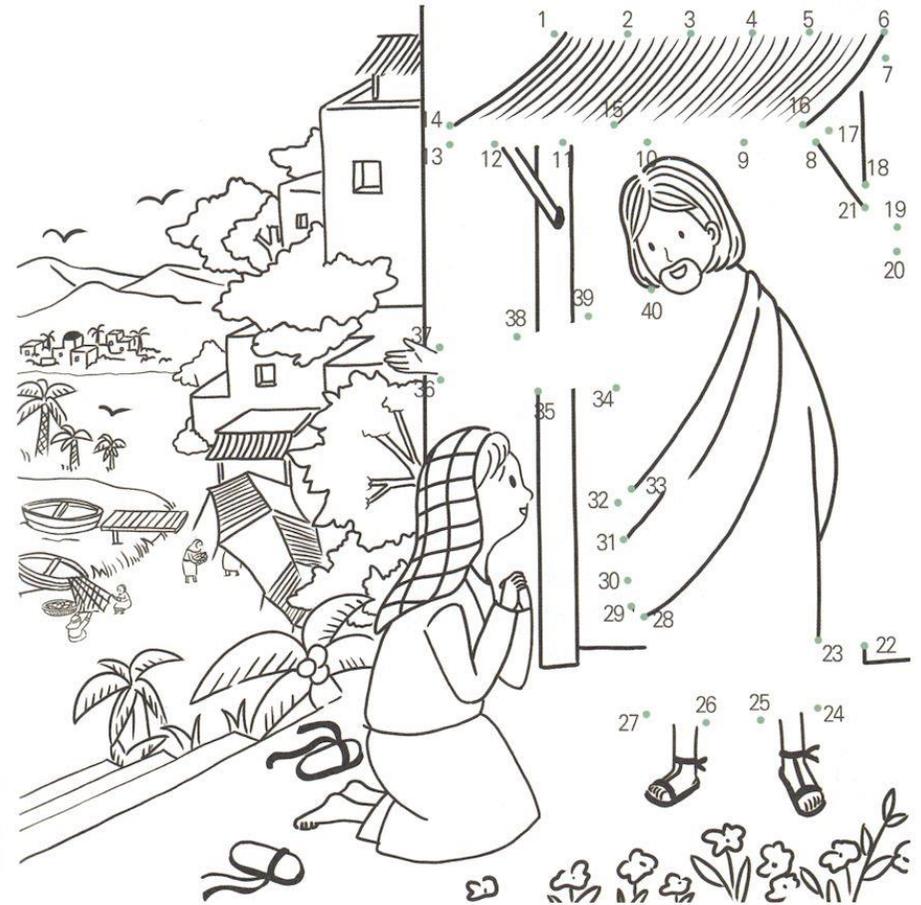
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私にあるいちばん大きな問題を神様の前に出して、いやされるその日になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
てきよう
適用しよう

イエス様をキリストと信じたスロ・フェニキヤの女の人と
イエス様の絵を完成させましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

16

もくようび

サタンに うばわれた ことを かいふくしよう

創世記
3章 15節

わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫の間に、
敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく。

サタンは、本来、神様を賛美する御使いでした。ところが、神様に帰すべき栄光を自分のものにしようとして、天から追い出されました。そのあとサタンは、神様に敵対して神のかたちを持つ人を倒しました。最初の人間アダムとエバにも、神様のようになるとうそをついて神様と引き離しました。このようにサタンは神様がくださった契約をなくすように働きます。

今でもサタンはあらゆる文化と経済を掌握して、世の中のすべての流れを操っています。3団体（フリーメイソン、ニューエイジ、ユダヤ人組織）のように、全世界に影響をあたえる人々を掌握して、21世紀のネフィリム運動（創世記6章）バベルの塔運動（創世記11章）で世界を引っ張っています。しかし、サタンは女の子孫であるキリストによって、すでにその頭を踏み砕かれました（創世記3:15）。ですから、イエス・キリストの御名によって、個人と現場、経済と文化を変えることができます。

今日も私たちはイエス・キリストを握りましょう。そして、現場に今も続く神様を離れた問題を解決して、サタンに奪われたことを回復する主役になりましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様の力によって現場を見て、福音で現場を変えられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



私のいる現場を見て、サタンから取り戻すべき3つのことを考えて書きましょう。私を通して回復されるように祈って、その内容を書きましょう。

例) ほかの宗教を信じる友だち

友だちに正しい福音を伝えてあげる。
福音を伝えて、神の子どもとして神様のもとに立ち返るように祈る



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぶ
準備する資料

18

どようび

ぐうぞう げんばを いかす レムナント

使徒 18章4節 パウロは安息日ごとに会堂で論じ、ユダヤ人とギリシヤ人を承服させようとした。

神様は人間に5種類の感覚、五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）をくださいました。どの感覚もすべて重要ですが、特に視覚を失った場合、まわりの助けをたくさん受けなければなりません。

人間が霊的な目を病んでしまうと、さらに深刻になります。サタンに導かれるようになるからです。神様の視点で見ないならば、この世の必要は福音だと気づくことができません。しかし、神様の視点で見るとき、世の中とすべての人には絶対に福音が必要だと知るようになるでしょう。

レムナントは神様の視点でわざわざ時代を見なければなりません。レムナントのパウロは律法学者で、ユダヤ人の最高指導者の位置にいて、さらに福音を妨げる迫害者でした。しかし、福音を悟ったパウロは、わざわざいとサタン文化に閉じ込められていたユダヤ人とローマを見て、現場を生かすために弟子とともに会堂に入りました。

私たちはまだ小さくて幼いのですが、神様が偶像現場を生かす見張り人として私たちを呼ばれました。この事実を覚えて、神様の視点が私の視点になるようにと祈りましょう。

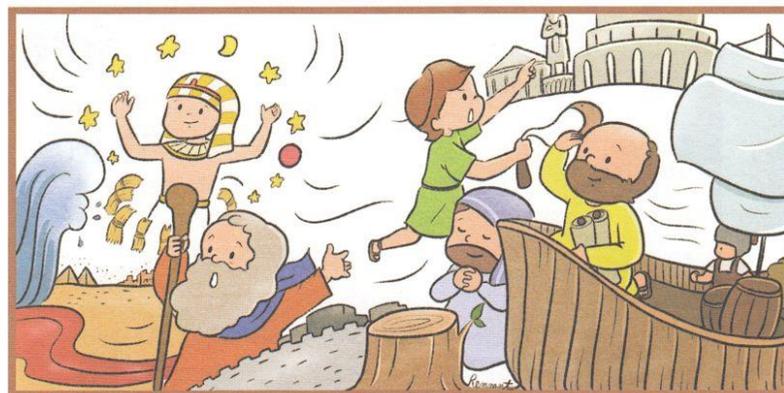
きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。わざわざ時代、病気の時代、暗やみ文化時代を生かすレムナントとして聖霊に満たしてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

ちがう絵を
みつめよう

聖書のレムナント7人（ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ）は、それぞれ自分が生きていた時代の偶像と戦って勝ちました。その姿を描いた2つの絵のちがうところ7つを見つけてみましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料